



人の心に感動や 幸せを与えられる 「絵」を描き

続けていきたい

北名古屋市在住の
人気イラストレーター、
ワタナベユウスケさん。
なぜ絵に魅せられ、
絵のプロを目指したのか。
絵が持つ力、活動内容を聞いた。

イラストレーター ワタナベユウスケさん



雑誌や子ども向けの本の表紙、テレビのCM、企業の広告など、注意して見てみると私たちが目にするものの中にはイラストが溢れている。ワタナベユウスケさんは、そのイラストを描くプロ。テレビ番組や動画に登場する様々なイラストを数多く手掛けるほか、似顔絵作家としても活動している。イラストは、アニメタッチから、リアルに描いたもの、アメコミ風など実に多彩。似顔絵は、見る人の気持ちを和ませる優しいタッチが特徴だ。イラストや似顔絵の制作では使う目的や求められる内容などに応じてアナログとデジタルを使い分け、人の心に届く「絵」を描き続けている。

絵を描くことに没頭した学生時代

ワタナベさんが「絵」を描くことへのめり込んだのは小学校時代。漫画が大好きで、少年漫画は毎週欠かさず買っていた。中でも当時人気だった「キン肉マン」の大ファンで、毎日のようにチャンの裏に描いて遊んでいたという。

「僕はどちらかというと口下手で友だちづくりが得意な方ではありませんでした。でも学校で絵を描いていると友だちが僕の周りに集まってきて、絵からいろいろな話が広がっていききました。それが嬉しくて、ますます絵を描くことにのめり込んでいきました」とワタナベさん。



中学時代は、4コマ漫画を描いてみんなに読んでもらいたくて新聞委員に立候補したことも。漫画家になるのを夢見るほど、絵や漫画に没頭していた少年時代だった。好きな絵やデザインを学びたくて、高校卒業後は美術系の大学に進学。ビジュアルデザインを専攻し、イラストレーションや広告などのグラフィックデザインを専門的に学んできた。その傍ら、ショッピングセンターなどで似顔絵を描くアルバイトを続けた。

大学卒業後は、絵を描く機会も多かったろうと期待して広告のデザイン会社に就職。商品広告のカタログや新聞広告のデザインなどを制作していたが、自分のやりたいこととズレを感じるようになる。そこで、仕事の休みの日に大学時代にやっていた似顔絵を描く副業を始めた。



▲テレビ番組のシチュエーションイラスト。見たことがあるような...

ソフトを使って作画していくが、お客さんもその作画過程を画面を通じて見られるとあって、すぐに予約が埋まるほどの人気イベントになっているそうだ。

結婚式のウェルカムボードや誕生日、入学式や卒業式、還暦祝いなど、一生に一度の記念日に贈る似顔絵のギフトも制作している。

「似顔絵は似ていることは大前提ですが、プラスαとして、その人に喜んでもらえるように可愛く、かっこよく描くことを心掛けています。出来上がった似顔絵を見て、温かい気持ちになってもらえる、そんな似顔絵を描いていきたいと思っています」と話す。

絵はコミュニケーションツール

ワタナベさんが似顔絵を描くにあたって大切にしているのが、被写体となる人のことを想いながら描くことだ。「人の絵を描くときは、その人のことを想って描きますよね。例えば両親や祖父母の絵なら、いつもありがたうとか、絵を見て喜んでくれるかなとか。そういう気持ちを持って描いた絵は、必ずその人の心に届くと信じています。何かをすることで人を感動させる、人の心を動かす経験こそ、すごく貴重なことだと思います。絵はそれが体験できる身近なツールなんです」。だからこそ、絵は人と人をつなぐコミュニケーションツールになり得るという。

ワタナベさんが絵を使った遊びを教えてくれた。言葉ではなく、絵で行う「しりとり」だ。ご自身も家族で「絵の



▲ブライダル出張にて。1枚約2分仕上げ、描く「技術」と「力」があつてこそ

しりとり」をよくするとか。楽しみながら家族で絵に親しむことができるので、一度やってみてはいかがだろうか。

イラストや似顔絵の仕事のほかに、江南市の生涯学習講座や子ども学級で絵の講師も務めているワタナベさん。絵を描く楽しさを伝え、広げていくことへの関心も高まってきているようだ。また今後は、雑誌や新聞などの媒体にもイラストを描いてみたいとか。そして、中学時代に夢見た漫画を描くことも諦めていない。いつか、雑誌などで大好きだった4コマ漫画を描いて、読む人を楽しませたいという。ワタナベさんが描く4コマ漫画を読める日は近いかもしれない。



▲自画像を手に

似顔絵の副業を始めたことで絵に対する熱量が高まり、同じ人生ならやりたいことをやろうと思い、約10年勤めた会社を自主退社。33歳で絵を副業にして生きていくことを決意する。

温かい気持ちになる似顔絵を

デザイナー会社を退職後、親が経営していた会社「AGREE」に入社。イラスト制作をするアート事業部を新しく立ちあげて一人で仕事を開拓していった。その後、親の引退を機に会社を引き継ぎ、イラストや似顔絵制作を専門にする会社として再スタート。テレビ番組や動画サイトのイラスト制作のほか、似顔絵ギフトやイベント出張など、さまざまなサービスを提供している。

テレビ番組などのイラスト制作では、登場人物の似顔絵や番組シーンを描くエピソードイラストが多い。番組制



▼オンライン似顔絵イベントの様子



▲イベント出張のブース



プロフィール

ワタナベユウスケ

1979年生まれ。北名古屋市出身。株式会社AGREE代表。イラストレーター。シンプルで見やすく伝わりやすいイラストや温かみのある絵柄の似顔絵を得意とする。クライアントデザイン専門学校の非常勤講師も務める。ART似顔絵大賞ワコム賞受賞、似顔絵世界大会ISCA白黒部門優勝、似顔絵日本大会JAPAN GRAND PRIXデザイン部門3位受賞など、受賞歴多数。

▲賑やかなワタナベさんの名刺裏面

似顔絵・イベントアイテムの専門店

AGREE

お問い合わせはコチラから♪

[LINE公式アカウント]



[Instagram]

